

# 学習集団形成のプロセスと支援

平成27年8月3日 (月曜日)

担当講師＝野島正也 (文教大学)

## I 個人学習と集団学習 ～相互補完的な学習形態

### ①個人学習

- ・独学 意志強固な人にとって誇らしい学習形態。だが、挫折、孤立化も
- ・個人学習の支援 → 図書館、博物館系施設、社会通信教育、講演 (集会学習)

### ②集団学習

- ・公民館等の講座で採用される講座・教室・塾等 (学習集団の意図的形成)
- ・自主的学習集団 (公民館サークル、PTA、青年組織、NPO、異業種交流会…)
- ・見て学ぶ、訊いて学ぶ、教えて学ぶ

## II 学習集団形成のプロセス

学習集団は、一般的に次のような形成のプロセスをたどる。

(カッコ内、指導者による支援のポイント)

### ①メンバーの集合

さまざまな学習動機と学習目的をもって学習者が集まってくる。形式的に集団のメンバー (成員) がそろう段階。(誘導)

### ②混乱期

メンバーそれぞれがパーソナリティを表出し、意見を出し合う段階。相互作用のなかで集団の一員としての意識が引き出される。多くの場合、意思疎通の難しさや価値観の対立等から混乱や葛藤がみられる。(受容)

### ③規範期

メンバーのなかに共感、連帯感、秩序が形成される段階。「われわれ意識」(we consciousness) も醸成される。(支援)

### ④活動期

高い水準で安定した活動を展開する段階。メンバーが互いに責任と役割を自覚し、集団を通して自発性・創造性を発揮する。自然的にファシリテーターが発生。(助言)

#### ⑤発展期

講座終了後も自主的な組織として集団が残り、さまざまな地域課題を取り込んで活動が広がる。(後見)

### Ⅲ 学習集団が学習者に与える効用

#### ①居場所の提供

グループに所属することにより安心感・安定感が得られる。交流により、心を癒される効果ももつ。「私にとって中洲の葦のようなところ」

#### ②相互刺激による学習

メンバー同士が、「まねる」こと、「訊く」こと、「教える」ことを通して学びを発展させる。指導者がいる場合、学びに「スコープ」と「シークエンス」の要素が加わる。

#### ③創出的な学習に参加

相互の刺激が一人一人に留まらず、新しい創造的な学習場面を作り出す。誘い合って自発的な地域見学や体験活動に発展する。

### Ⅳ 社会教育事業における学習集団形成の実際

#### 1 講座・教室の運営方針 ～学習グループ化に向けた講座運営～

##### ①学習者の企画・運営への参加

##### ②グループ学習体験の蓄積

##### ③話し合い、発表、ワークショップなどの学習方法の習得

#### 2 社会教育施設における学習機会の提供

##### ①公民館等における学習グループ(通称・サークル)の育成

～ 学級・講座、各種イベントと並んで、公民館事業の3大柱を形成

##### ②図書館・博物館系施設におけるグループ(「友の会」等)の育成

～ 親睦、学習、施設ボランティアなどの活動を展開

### 3 地域学習集団への支援

#### ①事業実施の支援

- ・ NPOなどによる公益性の高い事業に対する助成・委託・共催・後援等

#### ②活動場所の提供

- ・ とくに定期的に活動するサークルには、施設使用料の減免対応も

#### ③指導者・リーダー・会員に研修機会を提供

- ・ 集団形成、マネジメント、リーダーシップ、社会教育施設利用等に関する研修

#### ④活動の発表の場の提供

- ・ 地域の催し、生涯学習の集い、公民館まつり、広報紙等での活動情報を公開

### 4 学習集団自身の運営努力

#### ①集団の魅力の発揮（3つの機会）

- i 新しいことに接する機会（学び）
- ii 人と交わる機会（おしゃべり、相談、受け止め）
- iii 人に認められる機会（自分に自信が、相手に信頼が）

#### ②運営の定期点検（retreat）

- i サークルの基本的な取り決め（会則事項）
  - ・ 組織、役員の決め方・任期（区切り）、会費…
- ii 活動の振り返り
  - ・ 活動内容・時期、成果の発表・評価、人間関係、将来展望…

## V 公民館等の学習サークルへの期待

### 1 講師・コーチによる「私塾化」の問題

#### ①基本的な考え方

- ・ 講師による営利事業は法の趣旨に違反（社教法23条）
- ・ サークル運営は会員全員で（役員を中心に、講師を助言者にして）

#### ②指導に対する謝礼の考え方

- i 無償（まったくのボランティアもあるが、稀。交通費は会員が持つことも）
- ii 僅償（会員の謝意の表れとして、若干の礼金等）
- iii 有償（実働分の講師料）

## 2 地域に関わる活動へ

①公民館まつり等のイベントの企画と実施

②公民館、文化会館・コミセン、福祉施設等の講座、教室での指導・助言

③地域活動への参画（NPO、地域行事、子供の土日活動の支援等）

④学校支援ボランティアの活動、放課後・土曜子供教室での指導等